



2020.10.25

ニンソウ自生地保護活動情報



メール：akatsukanironso@gmail.com
発行：都立赤塚公園サービスセンター ボランティア係 03-3938-5715
編集責任：運営サポーター：木村松夫 090-8646-9757

10/25 ようやく 草刈りに着手！



秋の活動が始まったのは 9/20 でした。それから 10/11、10/18 と、3回の活動日があったのですが、いずれも雨か雨後で林床が濡れていて作業が出来ない日が続いていました。10/25 はようやく晴天。赤塚公園中央地区には朝早くから家族連れが繰り出して久々の気持ち良い一日を楽しんでいました。こんなに晴れなくてもいいから、過去3日、ちょっとずつ晴れてくれていたなら、作業はもっと進んでいたのにと、おてんとうさまに「贅沢な愚痴」。

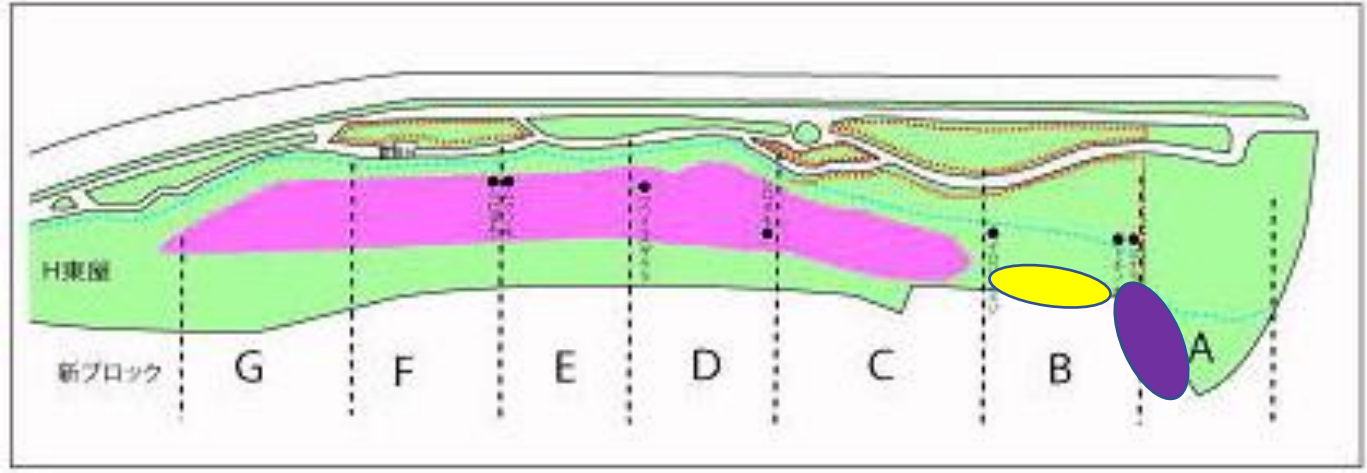


10/25 は旧保存する会のみなさんに加えて新規参加のみなさん、計 13 名が駆けつけてくれました。活動力の強化を図るために刈り払い機を使っての作業テストを行いました。これには赤塚公園サービスセンターの3名のスタッフが取り組みました。



みなさん、ご苦労様でした。ありがとうございました。

作業は以下のマップのBブロックから始めました。紫色がセンタースタッフ3名による機械刈り部分、黄色がメンバー11名による手刈り部分。いずれも作業時間は1時間20分前後ですが、やは



り機械刈りの効率の良さがはっきり分かりました。

この日は、開始前に下のような資料をお配りして、刈り取って良い植物と残す植物を決めてかかりました。

<手刈りによる草刈り作業>

① アズマネザサとコクサギは地際より刈り取ってください。

② ヤブミヨウガは根ごと抜き取ってください

③ ウバユリは林の風情を残すためにそのまま手を付けません。

④ その他は普通に

刈り取りますが「残したほうが良いかも」と思われる植物や分からないことがあったら、榮さんか木村に相談してください。



アズマネザサ



コクサギ (咲いているのは雄花で春開花)



実際にやってみると、東京都の準絶滅危惧種でニリンソウよりも危惧度が高いヤナギイノコズチ (右の写真) はどうするの？ シダ植物類は？ 実生の木本は？ など、考えさせられるものがたくさん出てきました。これらは必要に応じてみなさんに説明しながら判断を行い、作業を進めましたが、機械刈りでは微妙な選択的刈り取りは出来ないのです、これからも手刈りと機械刈りを使い分けていくことになりそうです。

次回以降もできるだけわかりやすい資料を作って、お話をしながら作業を行っていきたいと思います。



11月、12月の活動日程 作業終了後、話し合っ決めてました。

11/8 機械刈り第2回+手刈り 場所：Cブロック

11/15 手刈りの草刈り

11/22 11/8 雨天の場合の予備日 (11/8 が実施なら、この日は休み)

11/29 手刈りの草刈り

12/13 手刈りの草刈り

12/20 11/29、12/13 の予備日

* いずれも日曜日、10:00 大門地区の観察台集合 雨天は中止です。